F&A AQUA
holdings, inc.

株式会社F&Aアクアホールディングス 第62期株主通信

（2011年3月1日から2012年2月29日まで）

株主の皆様へ

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に対応し、信頼される企業、夢を与えられる企業、貢献できる企業、期待される企業を目指すことを経営理念としています。そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただけましたら幸いでございます。

代表取締役社長　**木村　祭氏**

2011年度の総括

第2次中期経営計画の最終年度にあたる2012年2月期は、震災の影響により大幅減収でスタートしました。しかし、4月以降は早期に業績が回復し、また12月のクリスマス商戦が成功したことにより増収大幅増益を達成することができました。なかでも連結経常利益は過去最高益を更新しました。

2011年度を総括すると、全ての事業会社で成長戦略の要となるビジネスモデルが完成し、マーケット創造が行えたことで大幅な損益改善を果した年度となりました。事業会社別にみると、（株）エフ・ディ・シィ・プロダクツは、「4℃ BRIDAL」（ヨンドシィブライダル）、「canal4℃」（カナルヨンドシィ）が順調に出店拡大し、百貨店以外への多チャネル化が成功しました。（株）アスティは、ODM事業等で得意先開拓が順調に進み、全部門で増益となりました。（株）三鈴のアパレルSPA事業は、ブランド再編による商品力の強化に努めるとともに課題であった収益構造の改革が実り、荒利益率が改善しました。（株）アージュは、コア事業の「パレット」の好調に加え、「LOU」（ルウ）、「ラポール」の損益改善によって全部門で予算を達成し、増収大幅増益となりました。（詳しい業績結果は、後出の連結財務諸表およびセグメント情報をご覧ください。）

株主の皆様への利益還元

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識し、安定的・継続的な配当と、機動的な自社株買いによる利益還元の水準向上を目指しています。その一環として、当期末の配当は過去最高経常利益を更新したことから、1円の特別配当を実施し、年間配当を21円とさせていただきました。2012年度は中間10.5円、期末10.5円の年間配当21円を予定しています。

第3次中期経営計画の基本方針

事業ビジョン

1. エフ・ディ・シィ・プロダクツグループにおけるチャネル戦略の推進によるジュエリーSPA事業の成長拡大
2. アスティグループにおける企画・生産機能の強化によるアパレルメーカー事業の収益向上
3. ㈱三鈴におけるコアブランドの育成によるアパレルSPA事業の確立
4. ㈱アージュにおける都市型フォーマットの確立によるデイリーファッション事業の収益向上
5. 海外戦略の推進
6. EC事業の拡大
7. 「4℃」ブランドの価値向上
8. 各グループ子会社の利益体質強化

組織ビジョン

- グループシナジー体制の構築
- グループ業務機能の集約・強化
- グループ次期基幹システムの構築
- グループ人材育成の推進
- グローバル化に対応した人材の育成

数値ビジョン

連結売上高	520億円
経常利益率	10%
ROE	7%

第3次中期経営計画をスタート

2012年3月に新たに第3次中期経営計画をスタートさせました。「Challenge & Progress（挑戦と躍進）」をテーマに掲げ、第2次中期経営計画で構築した攻めの体質と強固な財務基盤を生かし、成長へ向けた投資を積極的に行っていきます。それにより、ビジネスモデルをさらに進化させ、強みを一層強くして利益の伴った高い成長を実現し、企業規模の拡大を目指します。さらに、成長投資への原資となるキャッシュを3年間で80億円程度創出する計画です。

これらの基本方針のもと、取り組むべきコア事業を「事業ビジョン」、それらを実現するための取り組みを「組織ビジョン」、数値目標は「数値ビジョン」として掲げ、成長軌道への転換を強力に推進していきます。第3次中期経営計画は、6年先の当社グループの姿を実現するための通過点であり、今後も中長期的なビジョンをベースに、高い成長を目指してまいります。

「挑戦と躍進」に向けて
F & A WAY

F&Aアクアホールディングスは、「4℃」ジュエリーを中心としたブランドSPA事業・飲食業のエフ・ディ・シィ・プロダクツグループ、OEMを中心としたアパレルメーカー事業、ホールセール事業およびディベロッパー事業のアスティグループ、アパレルSPA事業の(株)三鈴、リテール事業を行う(株)アージュの4事業グループで構成されています。
それぞれの事業グループの第2次中期経営計画の成果、および第3次中期経営計画におけるビジョンについてご紹介します。

エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ

■ 第2次中期経営計画の成果

コアブランド「4℃」を成長させるとともに、新ブランドでの新市場創造とビジネスモデルの構築ができたことで、利益の大幅な拡大と多チャネル化を推進することができました。

■ 第3次中期経営計画におけるビジョン

引き続き、「4℃ BRIDAL」「canal4℃」の強化・拡大に努めます。さらに百貨店チャネルにおいてニューゾーンの「4℃ Pregence」(ヨンドシィ・プレジェンス)を展開、ファッションジュエリーを再構築します。また、広告宣伝投資により「4℃」ブランドのイメージ向上を図るとともに、新たに郊外型SC向けのブランドを立ち上げる計画です。

「4℃ BRIDAL」で新市場を開拓し、「canal4℃」では駅ビルやファッションビルなど都市型SCチャネルの開拓が順調に進みました。

アスティグループ

■ 第2次中期経営計画の成果

アパレルメーカー事業の拡大と、ホールセール事業での地域マーケット確保により、損益改善を果たすことができました。とりわけ、コア事業となるODMビジネスの着実な進展が、その原動力となりました。

■ 第3次中期経営計画におけるビジョン

アパレルメーカー事業においては、生産背景の再構築と企画素材提案力の強化に取り組み、新規マーケットの開拓を進めます。ホールセール事業では、商品提案力と商品構成力を強化し、既存マーケットの確保・拡大に努めます。こうしたマーケット戦略により、高収益化を図っていきます。

自社デザイナーを活用した競争力のある商品の企画提案により、大手アパレルや専門店、GMS、専門量販店等の企業のお客様から高い信頼を得ています。

(株)三鈴

■ 第2次中期経営計画の成果

SPA機能の構造を基盤に、ブランドの集約とスクラップ・アンド・ビルドの推進により、収益構造が大幅に改善されました。

■ 第3次中期経営計画におけるビジョン

第2次中期経営計画の施策により収益構造が改善し、成長ブランドのビジネスモデルが具体化したことから、積極的な新規出店とECチャネルへの取り組み強化で、アパレルSPA事業の成長転換に努めます。また、ブランド価値の向上に向けた取り組みとして、WEB環境の整備と既存店における改装リニューアルへ成長投資を行っていきます。

郊外型SC向け「Flor」(フロール)や、セレクト系・大人カジュアルの「Double dazzle」(ダブルダージル)など新しいプロトタイプの開発を進めています。

(株)アージュ

■ 第2次中期経営計画の成果

2010年度に、仕入先との商談頻度アップと店舗対応力強化を目的に、関西事務所を開設し本部機能を移転したことを機に、コア事業「パレット」の拡大が図れました。また、「ラポール」「LOU」の損益改善が行え、利益体質の強化が進みました。

■ 第3次中期経営計画におけるビジョン

デイリーファッション事業「パレット」の収益向上を柱として引き続き拡大を図ります。そのために「パレット」では、都市型フォーマットの確立と300坪プロトタイプへの挑戦に取り組むと同時に、売上高100億円体制に向けたパレット本部機能強化、組織作りを行ってまいります。店舗の標準化を進め、関西ドミナントの出店加速を図っていきます。

2012年度、「パレット」は関西地区を中心に出店予定です。

Advance to the Future

連　結　財　務　諸　表

■ 2012年2月期連結業績

営業収益	467億円（前期比 +0.6%）
営業利益	34億円（前期比 +37.0%）
経常利益	39億円（前期比 +30.6%）
当期純利益	20億円（前期比 +98.7%）

■ 連結貸借対照表（要旨）

（単位:百万円）

科　目	2011年2月期（第61期）（2011年2月28日現在）	2012年2月期（第62期）（2012年2月29日現在）
（資産の部）		
流動資産	10,873	11,974
固定資産	40,514	39,167
資産合計	51,387	51,142
（負債の部）		
流動負債	9,764	8,530
固定負債	3,806	3,774
負債合計	13,570	12,304
（純資産の部）		
株主資本	37,973	39,030
その他の包括利益累計額	△164	△208
新株予約権	5	14
少数株主持分	1	1
純資産合計	37,816	38,837
負債純資産合計	51,387	51,142

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結損益計算書（要旨）

（単位:百万円）

科　目	2011年2月期（第61期）（2010年3月1日から2011年2月28日まで）	2012年2月期（第62期）（2011年3月1日から2012年2月29日まで）
営業収益	46,433	46,693
売上高	45,225	45,690
売上原価	20,972	21,071
売上総利益	24,252	24,618
その他の営業収入	1,208	1,002
営業総利益	25,461	25,621
販売費及び一般管理費	22,961	22,196
営業利益	2,499	3,425
営業外収益	545	516
営業外費用	67	51
経常利益	2,978	3,889
特別利益	24	124
特別損失	962	470
税金等調整前当期純利益	2,039	3,543
当期純利益	991	1,970

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

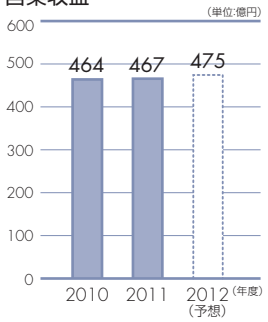
■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位:百万円）

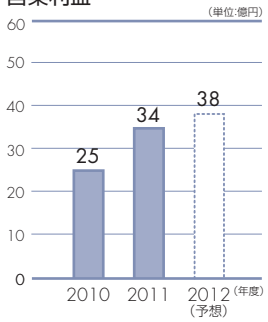
科　目	2011年2月期（第61期）（2010年3月1日から2011年2月28日まで）	2012年2月期（第62期）（2011年3月1日から2012年2月29日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,858	4,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△966	△432
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,904	△2,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△15	784
現金及び現金同等物の期首残高	518	502
現金及び現金同等物の期末残高	502	1,287

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

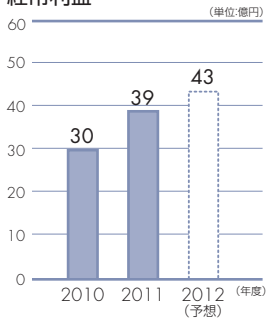
営業収益



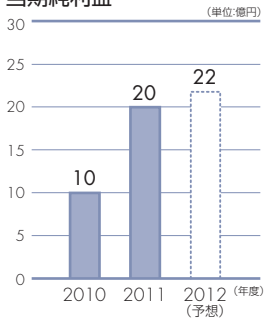
営業利益



経常利益



当期純利益



セ　グ　メ　ン　ト　情　報

■ 事業区分別業績

※2012年2月期より報告セグメントを変更したため、前年比は記載しておりません。

2012年2月期	営業収益（単位:百万円）	セグメント利益（単位:百万円）	概　　要
エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ	22,980	3,095	主力の「4℃」ジュエリーの既存店の売上回復や「4℃BRIDAL」の積極的な出店、「canal4℃」の都市型SCを中心としたマーケットの拡大による新規顧客の獲得により、好調に推移しました。加えて、「EAUDOUCE4℃」や「4℃」バッグも健闘し、売上高、営業利益ともに大幅に増加しました。
アスティグループ	9,585	338	OEM事業を中心としたアパレルメーカー事業の強化により売上高の拡大に取り組んできました。主力得意先との取り組みが順調に推移したことや、新規得意先の開拓と取引が拡大したことにより、売上高、営業利益ともに堅調に推移しました。
三鈴	6,567	140	ブランドの再編による商品力の強化、主力商品を軸にしたコーディネート提案と服飾雑貨の強化に努めるとともに、プロパー消化率の向上と経費削減が奏功し、営業利益が大幅に改善しました。
アージュ	7,559	140	売上高の拡大と利益体質の強化に取り組んできました。主力の「パレット」が好調に推移したほか、「LOU」や「ラポール」の損益改善により、売上高、営業利益ともに増加しました。

注1：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。　注2：外部顧客に対する営業収益を表示しています。

トピックス

エフ・ディ・シィ・プロダクツグループの新たな挑戦
～「4℃ Pregence」が誕生 ～

2012年4月27日、「4℃」のニューゾーン「4℃ Pregence」がデビューしました。ラグジュアリーブランドへの新たな挑戦として、「4℃」ブランドの中で30歳以上のアッパーゾーンをターゲットに、2012年初年度は35店舗展開を計画しています。

「4℃ Pregence」

F&Aアクアホールディングス HPをリニューアル

当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。2012年4月よりリニューアルし、一層コンテンツの充実を図りました。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、2011年度より四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL http://www.fa-aqua.co.jp/

会社概要 (2012年2月29日現在)

社名	株式会社 F&Aアクアホールディングス (英文) F&A AQUA HOLDINGS,INC. (略称) F&AアクアHD
代表者	代表取締役社長　木村　祭氏
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日 (2006年9月1日株式会社アスティから社名変更)
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業 アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業 および小売事業
連結子会社	12社

役　員 (2012年5月24日現在)

代表取締役会長	細田　信行
代表取締役社長	木村　祭氏
代表取締役専務	田村　英樹
常務取締役	鈴木　秀典
常務取締役	宮本　　聡
常務取締役	岩森　真彦
取　締　役	西村　政彦
取　締　役	瀧口　昭弘
取　締　役	大木　茂生
常勤監査役	田坂　英二
監　査　役	上村　信彦
監　査　役	藤森　友明

IRお問い合わせ先　業務部 業務課　TEL:03-5719-3429　FAX:03-5719-4462　E-mail:ir@fa-aqua.co.jp

株　主　情　報

株式情報 (2012年2月29日現在)

発行済株式総数	29,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	10,211名

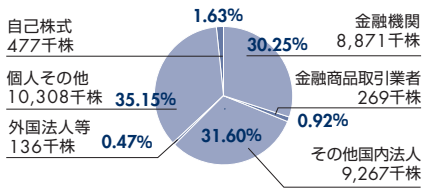
大株主 (2012年2月29日現在)

株　主　名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フジ	5,224	17.81
株式会社広島銀行	1,442	4.92
第一生命保険株式会社	1,254	4.28
F&Aアクア共栄会	1,113	3.79
株式会社三井住友銀行	781	2.66
東京海上日動火災保険株式会社	758	2.58
株式会社伊予銀行	739	2.52
F&Aアクアホールディングス従業員持株会	487	1.66
株式会社もみじ銀行	477	1.63
尾山嗣雄	456	1.55

注:当社は自己株式477,292株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

株式分布状況 (2012年2月29日現在)

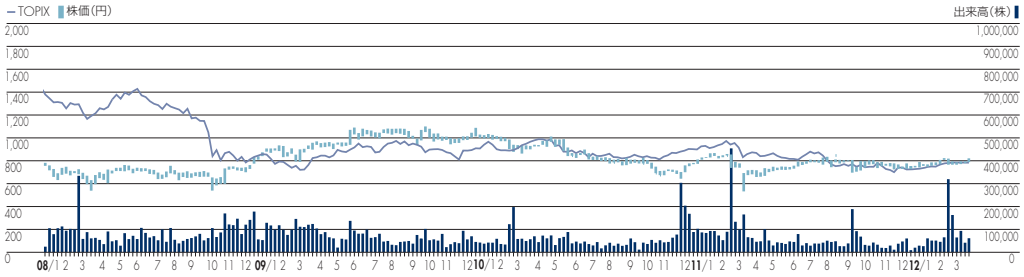
■ 所有者別株式分布



IRカレンダー

決算発表・説明会	毎年4月中旬
定時株主総会	毎年5月下旬
第1四半期決算発表	毎年7月上旬
第2四半期決算発表・説明会	毎年10月中旬
第3四半期決算発表	毎年1月上旬

株価推移



株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社　東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部　東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部　東京都江東区東砂7-10-11 (お問い合わせ先)　電話 (0120)232-711 (通話無料) (各種手続き用紙のご請求)　電話 (0120)244-479 (通話無料)
公告	(公告方法)当会社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス)http://www.fa-aqua.co.jp/ir/koukoku.html/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

(ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。